

平成 27 年度事業報告

1 社会福祉法人 延寿会

(1) 概要

① 利用者及び家族へのサービス提供の充実

- ・リスクマネジメントについて、定期的な会議を開催し新任職員に対しても会議や現場での指導等を通じて意識づけを行った。

② 地域福祉の推進

- ・地域のボランティア活動グループの受け入れや幼稚園・小学校との交流会を継続して行っている。
- ・中学生の職業体験の受け入れ及び福祉専門学校や学生ボランティアの受け入れを行った。
- ・施設訪問の受け入れは行えているが、外部に出かけ交流を図る機会がなく、今後地域活動への参加を実施していく。

③ 人材確保と育成

- ・新任者に対しても、技術・意識の向上を図れるよう外部研修受講の機会をもった。
- ・それぞれの部署や職員が持つ情報や知識を生かし、アドバイスや協力を行うことで、行事や日々の関わりが円滑に進めることができた。
- ・役職員間の運営会議等の開催の機会がなく、日々の情報交換にとどまっているため、連絡や状況を共有できにくいことがあり、今後計画的・定期的に会議の開催の必要性がある。

④ 施設整備について

- ・土地購入が完了し、それにかかる手続きを随時行っている。
- ・平成 29 年度から開始される、介護予防・日常生活支援総合事業にも適応できるデイサービスセンターの開設(平成 28 年 8~10 月頃の予定)に向けて準備を行う。
- ・小規模多機能型居宅介護の開設について、貝塚市の開設準備事業者として選考された。(平成 29 年 3 月頃の開設予定)
- ・デイサービスセンター建築等についての準備や必要に応じ理事会の開催を行う予定。

(2) 研修その他

	社外 (大阪社会福祉協議会等)				
	ケアハウス	デイサービス	ヘルパー	ケアプラン	包括支援センター
H27 4 月		介護保険 集団指導 福祉職員キャリア アップ研修 (新任向き)	介護保険 集団指導	介護保険集団指 導	介護保険集団指 導
H27 5 月	給食研究会定期 総会				

H27 6月	衛生講習会 感染症食中毒予 防対策講習会				貝塚市社協研修 会
H27 7月		↑ 認知症実践者 研修 (全8日間)		認知症キャラバ ンメイト養成研 修 鬱病と自殺対策 研修	地域ケア会議 自殺対策推進人 材養成講座
H27 8月		↓ 事業者連絡会	事業者連絡会	事業者連絡会	事業者連絡会 高齢者虐待
H27 9月				大阪府認定調査 員養成研修	
H27 10月	労働災害防止セ ミナー 応急手当講習会			大阪府認定調査 員現任研修	総合事業研修会 認知症キャラバ ンメイト研修会
H27 11月	感染症予防対策 講習会			訪問看護・関係機 関研修会 リハビリマネジ メント研修	
H27 12月				阪和地域リハビ リ勉強会	在宅医療介護連 携推進セミナー 地域ケア会議
H28 1月					認知症地域支援 推進委員会
H28 2月				事業所者連絡会 地域ケア会議勉 強会	多職種連携研修 認知症疾患セン ター研修
H28 3月					地域リハケア会 議 日常自立支援事 業研修

職員 関係	常勤・非常勤全職員の健康診断 (年1回) 常勤・非常勤全職員のインフルエンザ予防接種 職員会議 (月1回) 給食会議 (月1回) リスクマネジメント会議 感染症対策委員会
----------	--

(3) 職員配置

平成28年3月度実績

		常勤	非常勤	計	総数
ケアハウス	生活相談員	1名		1名	12名
	事務員	1名		1名	
	介護職員	2名		2名	
	栄養士	1名		1名	
	厨房職員	1名	5名	6名	
	清掃員		1名	1名	
	資格取得内容、事務所：介護福祉士1名、衛生管理者1名、認知症学習療法士1名、 厨房：調理師2名				

通所介護	介護職員	11名	10名	21名	23名
	(うち介護福祉士数)	7名	2名	9名)	
	看護師 (機能訓練指導員兼務)	1名	1名	2名	
	資格取得内容、社会福祉士1名、居宅介護支援専門員1名、認知症学習療法士1名、 認知症実践者研修終了者2名				
居宅介護支援	居宅介護支援専門員	5名			5名
	資格取得内容、主任介護支援専門員1名				
訪問介護	訪問介護員	1名	5名	6名	6名
	資格取得内容、介護福祉士2名、介護職員基礎研修課程修了者1名				
包括	社会福祉士	1名		1名	4名
	看護師	1名		1名	
	主任居宅介護支援専門員	2名		2名	
	資格取得内容、居宅介護支援専門員4名(うち主任介護支援専門員2名) 社会福祉士3名、看護師2名、介護福祉士1名 (重複あり) *困難ケースなど多種多様な相談を受けるため、複数の資格を持つ者や経験のある者の配置を行うなど、より専門性の高い職員の配置が必要である。				
				合計	50名

・障がい者雇用 (通所介護(介護職員)) 1名→平成27年4月入社

2 ふれあい二色の浜

(1) 軽費老人ホーム

①概要

- ・入居期間の長期化に伴う年齢の上昇と共に介護度が高くなる入居者も多くなっているが、職員の働きかけや介護サービスとの連携等で、お元気にご自身で生活動作を継続されている方が多い。
- ・定期的な会議の開催（会議の日程をあらかじめ出す）ことで、全職員が会議に参加し、行事や入居者との関わりに自覚を持つことが出来ている。
- ・各職員が自分の役割を自覚し、他の職員と協力することで活気ある職場作りが行えている。
- ・本年度に発生した空室を埋め、満室の状況に持っていくことが出来た。かつ現時点で入居をお待ちの方もいらっしゃる状況に持っていくことが出来た。
- ・各職員が担当や役割を明確に理解し、業務や入居者への関わり等の偏りが減少した。
- ・活動能力の高い入居者が増えたことや職員の声掛けにより昨年度よりも行事の参加率は上昇した。行事の形骸化については、全てにおいて変化できたわけではないが内容や目的地に目新しさを盛り込み、入居期間の長い入居者様にも楽しんでいただけた。
- ・介護度の高い入居者への対応が多くなるにつれ、自立生活を送られている入居者に不公平感を感じさせている。

②入居者状況

入退去状況

ア. 退去者 5名

- ・93歳 女性：老健に入所しており当施設復帰が困難になり、入所先の老健美樹の苑に移動となる 【平成27年4月…空室1室】
- ・70歳 男性：病気で入院し復帰困難となり、退去。 【平成27年4月…空室2室】
- ・86歳 女性：病状が悪化し看取りの元ご逝去される 【平成27年7月…空室1室】
- ・85歳 女性：当施設での生活が困難になり老健緑ヶ丘へ移動となる 【平成27年9月…空室2室】
- ・96歳 女性：入退院を繰り返していたが病状が悪化しご本人の希望に沿い入院、そのままご逝去される 【平成27年10月…空室2室】

イ. 入居者 5名

- ・67歳 男性：滋賀県で一人暮らし(ご本人が独居に不安を感じ、娘様の自宅近くの施設へ入居を希望された為) 【平成27年5月…空室1室】
- ・68歳 男性：貝塚市内で一人暮らし(本人が独居に不安を感じた為) 【平成27年5月…空室なし】
- ・82歳 女性：貝塚市内の病院で療養(在宅復帰が困難な為) 【平成27年10月…空室1室】
- ・83歳 男性：貝塚市内で家族と同居(本人が家族に気を使い独居を希望した為) 【平成27年12月…空室1室】

・84歳 女性：貝塚市内で一人暮らし(家族が独居に不安を感じた為)

【平成27年12月…空室なし】

③入所者の年齢別状況

	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	合計	平均 年齢
女性		1		3	10	11	6	1	32	85.0
男性		2	2	1	1		2		8	78.9
総数		3	2	4	11	11	8	1	40	83.8
前年度		1	3	5	11	10	8	2	40	83.8

④入居者の介護度及びサービス利用状況

介護度		要支援		要介護				
		1	2	1	2	3	4	5
人数		5	12	5	7		1	
利用サービス	通所介護	1	5	4	7		1	
	訪問介護	1	4	3	6		1	
	福祉用具	1	2	4	4		1	
	訪問リハ							

⑤主な行事

4月	・お花見・高野山参拝
5月	・日帰り旅行（白浜アドベンチャーワールド）
6月	・創立記念食事会・消防訓練・二色の浜バーベキュー ・ボランティア（ハーモニカクラブ）
7月	・西幼稚園来訪・昼食外食会（寿司割烹たから） ・ボランティア（大正琴クラブ）
8月	・夏祭り・映画鑑賞会
9月	・お出かけバスツアー（大阪市内周遊観光） ・ボランティア（きらめき会・梅の木会）
10月	・二色の浜でお弁当・ふれあい運動会
11月	・秋の日帰り旅行 犬鳴山温泉(み奈美亭)・菊花展・映画鑑賞会 ・ボランティア（花水木会）
12月	・クリスマス会 ・もちつき・消防訓練
1月	・新春お楽しみ会 ・初詣（水間寺・道陸神社）
2月	・節分 ・バレンタインデー ・外食会(夢一喜)

3月	・西小学校来訪	・デイケア合同カラオケ大会	・映画鑑賞会
----	---------	---------------	--------

※特記事項…傾聴ボランティアそよ風、平成27年4月～平成28年3月 月1回来訪

(平成28年1月は予定合わずキャンセル)

*その他：毎月誕生日会・寺子屋・お元気教室・フラワーアレンジメント教室・書道等

⑥今後の方針

- ・入居者募集については、現在入居待ちをされている方もいらっしゃる状況であるが、今後の空室の発生に備え、待たれている方への定期連絡を行い、待っていただける状況を作り出す。かつ各包括様やプランセンター様へのご挨拶や営業を定期的に行い、空室が発生した際も即座に対応できるよう準備を整える。
- ・行事・入居者との関わりの中で、業務や関わりの偏りをさらに減らせるよう、引き続き役割分担や情報伝達を明確に行い、協力体制を強化していくと共に、入居者に不公平感を与えないようにしていく。
- ・引き続き斬新な行事を企画し、行事が形骸化されたと感じられず、楽しく生活していただけるよう運営していく。

(2) デイサービスセンター

①概要

- ア. 介護保険制度の改定により、基本報酬の減少や自己負担割合が2割（平成27年8月施行）に増加した利用者があったが、前年度に比べ利用者数の減少はなく1日平均55人を継続できた。
- ・男性利用者に対して、将棋や囲碁などの興味のあるものの提供や場所作りをすることで、楽しみを持って利用してもらうことができた。
- イ. 介護保険制度の改定により、個別機能訓練加算の算定要件に変更があったが、訓練内容の検討や体力測定等への取り組みにより、混乱なく実施できた。
- ・書類等の整備が十分になされておらず滞ることがあり、職員の書類整理や機能訓練についての意識や知識の向上ができていない。
- ウ. 職員に対する、報告・連絡・相談の充実を図るため、報告内容やタイミングなどを明確にすることで、役職員への情報伝達が行え、サービス提供時の混乱を防ぎ利用者や家族の不満を早期に解決することができた。
- ・利用者や家族からの伝言を役職員に伝達するだけになり、各職員が適切に情報の収集等が行えていない。
 - ・新任職員への研修（高齢者への関わりや介護技術）や中堅職員の意識の向上が十分に行えていない。

② 実習生、職業体験の受け入れ

- H26.6月 貝塚第1中学より職業体験 2名（2日間）
H28.1月 福祉専門学校入学のためボランティア活動 1名（2日間）

③ 利用者状況

ア) 月別、介護度別利用者の推移（延べ人数（実人数））

	要支援		要介護					合計	一日平均
	1	2	1	2	3	4	5		
4月	29(9)	198(27)	297(35)	449(45)	227(23)	87(8)	46(7)	1333(154)	51.3
5月	36(10)	187(24)	331(37)	468(45)	247(22)	113(6)	61(8)	1443(156)	55.5
6月	33(9)	170(25)	338(38)	458(45)	271(25)	91(9)	65(8)	1426(159)	54.8
7月	53(12)	190(24)	369(39)	430(40)	290(26)	82(9)	92(9)	1506(159)	55.8
8月	43(12)	175(25)	350(37)	408(42)	262(24)	81(9)	83(8)	1402(157)	53.9
9月	52(14)	190(26)	367(37)	431(43)	254(23)	102(10)	76(7)	1472(160)	56.6
10月	59(15)	198(27)	407(42)	450(44)	234(22)	102(11)	74(6)	1524(167)	56.4
11月	55(14)	206(27)	370(40)	407(47)	232(22)	84(10)	47(6)	1401(166)	56.0
12月	52(14)	215(26)	379(40)	400(44)	235(22)	92(11)	52(6)	1425(163)	57
1月	50(14)	182(27)	332(39)	379(46)	204(20)	103(10)	39(5)	1289(161)	56.0
2月	43(11)	181(25)	371(39)	441(49)	220(20)	125(13)	31(4)	1412(161)	56.5
3月	38(9)	202(25)	376(40)	463(48)	193(17)	109(12)	28(3)	1409(154)	52.1
合計	543	2294	4287	5184	2869	1171	694	17042	55.1

④ 主な行事

		おやつ作り
4月	・お花見ドライブ（永楽ダム）	サクラフルーチェ
5月	・ふれあい食事会・物作り（カーネーション作り） ・風船バレー大会	あん餃子
6月	・創立記念食事・ハーモニカ倶楽部（ケア合同） ・消防訓練（ケア合同）	寒天フルーツポンチ
7月	・七夕会（七夕紙芝居・笹飾り）・物作り（風鈴） ・西幼稚園来訪（ケア合同） ・大正琴クラブ（ケア合同）	コロコロアメリカンドッグ
8月	・夏祭り	
9月	・野球ゲーム・敬老会（スタッフ演芸） きらめき会（ケア合同）・梅の木会（ケア合同）	どら焼き
10月	・ふれあい大運動会 ・芋ほりゲーム	かぼちゃミルフィーユ さつまいもとりんごのお焼き
11月	・秋の味覚狩り・花水木会（ケア合同） ・物作り（フェルトクリスマスツリー）	はったいさつま ミニたこせん
12月	・クリスマス会・消防訓練（ケア合同）	ミニホットドッグ
1月	・新春お楽しみ会・物作り（プラバン名札）	大学芋
2月	・節分豆まきゲーム・物作り（プラバン名札）	イタリアンたこ焼き
3月	・ひなあられゲーム・物作り（プラバン名札） ・花見ドライブ（流木・水間寺） ・カラオケ大会（ケア合同）・西小学校（ケア合同）	芋きんつば

*その他：毎月誕生日会・映画鑑賞会等

⑤ 今後の方針

- ・整えるべき書類を整理し、手順や担当者をきっちりと提示し、責任を持って行う。
- ・新任・中堅・指導的職員のそれぞれの役割を自覚し、不足している知識や技術を積極的に習得できるよう、役割表の整備や勉強会を行う。
- ・職員に対し、業務的な事柄だけでなく利用者個々に応じた関わり方法や声掛けなどの心を通わす大切さなどの指導を積極的に行う。
- ・虐待やリスクマネジメントに対しての研修や取り組みを行う。

(3) ヘルパーステーション

①概要

- ・非常勤職員（登録ヘルパー）の月一回の会議への出席率もよく、利用者の状況や困難に感じていることについての報告・相談等も確実に行えている。
- ・ケアマネジャーと連携を図り、利用者への信頼関係を深めより適切なサービスを提供できた。
- ・訪問介護員の勤務体制の調整、サービス先（居住地等）を勘案しサービス提供を組み合わせる努力を行ったが、訪問介護員の勤務時間の調整やサービス提供責任者1名に対し利用者40名の上限あり利用者数の増加が行えない状況が続き、サービス提供時間の増加が行えなかった。

②利用者状況

(月別介護度別利用者数の推移) (延べ人数 (実人数))

	要支援		要介護					合計	(平均) 1日の 提供回数
	1	2	1	2	3	4	5		
4月	56(10)	58(10)	31(4)	76(11)	30(5)	42(3)		293(43)	11.1
5月	48(9)	53(10)	35(5)	73(10)	40(5)	41(4)		290(43)	11.1
6月	56(10)	53(9)	43(7)	68(9)	39(4)	20(3)		279(42)	10.7
7月	50(9)	55(9)	52(7)	78(10)	30(3)	16(2)		281(40)	10.4
8月	41(8)	61(10)	38(6)	84(11)	22(3)	15(2)		261(40)	10.0
9月	37(8)	54(9)	39(6)	91(12)	17(2)	35(4)		273(41)	10.5
10月	42(8)	53(9)	48(7)	89(11)	17(2)	39(3)		288(40)	10.6
11月	37(8)	49(9)	30(6)	93(12)	14(2)	37(3)		260(40)	10.4
12月	37(8)	55(9)	30(6)	79(11)	6(1)	49(3)	7(1)	263(41)	10.5
1月	31(8)	53(10)	32(7)	59(9)	3(1)	29(2)	4(1)	207(38)	9
2月	35(7)	68(11)	26(6)	63(9)	5(1)	64(2)		261(36)	10.4
3月	35(7)	62(10)	35(7)	52(7)	6(3)	24(3)		214(37)	7.9
合計	505	674	439	901	229	411	11	3170	10.21

③今後の方針

- ・知識・技術の向上等につながるように、研修（社内・外）に積極的に参加する。
- ・サービス提供だけでなく、制度や給付事務等に積極的に取り組み知識の向上を図り適切に業務を遂行する。
- ・人員配置の見直し等により、利用者の獲得や提供時間数の増加を図る。

(4) ケアプランセンター

①概要

- ア. 介護保険改正に伴う、サービス点数の変更や算定要件の変更等についても勉強会等を通じて知識の習得ができ、利用者・家族への対応が混乱なく行えた。
- ・特定事業所加算の算定を行い、定期的な会議の開催や困難事例への積極的な取り組みを行っている。
- イ. 新任・中堅・指導的職員それぞれが自覚を持って、会議や事例検討の際に意見を述べている。
- ・個々のケアマネジャーの思いや関わりに個人差があり、課題解決に向けて円滑に進むことができないケースがある。
 - ・困難ケースへの関わりや家族に課題があるケース等の件数が増加しており、ケースへの対応への戸惑いや地域や関係各所との連携を深めることができなかった。

②利用者の状況

月別介護度別の利用者数の推移(1 ケアマネ 39 件の上限あり)ケアマネ 5 名(利用者数上限 195 件)

	要支援		要介護					合計 実人数 (件数)	平均 実人数 (件数)
	1	2	1	2	3	4	5		
4月	13	35	47	58	25	12	7	197名(173件)	39.4名(34.6件)
5月	12	37	46	58	23	13	6	195名(170.5件)	39名(34.1件)
6月	14	36	48	54	29	13	6	200名(175件)	40名(35件)
7月	16	36	50	54	29	13	7	205名(179件)	41名(35.8件)
8月	15	36	47	58	29	10	7	202名(176.5件)	40.4名(35.3件)
9月	16	38	47	63	27	12	6	209名(180件)	41.8名(36.4件)
10月	15	39	53	60	25	13	6	211名(184件)	42.2名(36.8件)
11月	15	42	55	60	25	13	5	215名(186.5件)	43名(37.3件)
12月	14	40	54	59	23	15	5	211名(183件)	42.2名(36.6件)
1月	16	40	55	57	24	13	5	210名(182件)	42名(36.4件)
2月	15	43	55	59	26	15	5	218名(189件)	43.6名(37.8件)
3月	18	41	53	56	24	15	6	213名(183.5件)	42.6名(36.7件)

*要支援1・2の利用者は、包括支援センターからの受託プランとなっている。

要支援1・2の利用者2名で1件と計算する。

③今後の方針

- ・会議でのケース検討について、その場の報告だけにとどまらず、アドバイスや検討がきちんとできるよう検討会を行う。
- ・利用者・ご家族の精神疾患や障害に適切に対応できるように、知識や相談技術の向上を図る必要がある。
- ・各職員が利用者ケースだけでなく、その他の書類（給付書類や契約書類、苦情ファイル、情報公表書類等）やその他の業務（市町村や保健所との連絡・連携等）についても知り、かわりをもてるようになる。

(5) 包括支援センター

①概要

- ア. 日常生活自立支援総合事業の開始に向けて、制度の理解や社会資源の情報の収集及び資源集の作成に取り組んだ。(貝塚市三包括及び行政と協同)
- ・地域ケア会議の開催（個別ケース・地域課題）や地域での勉強会等を行ったが、地域ケア会議の意識を持たず開催しているケースがあった。
- イ. 多職種連携について、個別ケース（総合相談）や権利擁護・消費者被害、障害福祉に関わるケースなど多種多様なケースに対して、各関係機関と共に関わることで、範囲の拡大が図れた。
- ウ. 包括的・継続的ケアマネ支援について
- ・ケアマネジャーからの相談件数の増加がみられた。(内容：家族との関係や成年後見制度・日常生活自立支援、障がい福祉制度についてなどが多く、複数の課題を抱えているケースなどが多い。)
 - ・職員が他のケアマネジャーへの支援に対する知識や技術、ケアマネジャー間のネットワーク作りを十分にできなかった。

②連携会議等の出席状況

毎月	貝塚市3包括連絡会
随時	貝塚市3包括社会福祉士部会 貝塚市3包括主任ケアマネ部会
7月	つげさん在宅ネット（在宅医療介護連携推進懇話会）
8月	地域包括運営委員会 貝塚市介護保険事業者連絡会 泉州地区地域包括支援センター連絡会
10月	岸和田・貝塚地域ケアリハ会議
11月	貝塚市居宅介護支援事業所部会
12月	つげさん在宅ネット（在宅医療介護連携推進懇話会）
1月	泉州地区包括社会福祉士部会
2月	居宅介護支援部会
3月	認知症疾患医療連携協議会 つげさん在宅ネット（在宅医療介護連携推進懇話会）

③包括的支援事業

*実人数については、毎月更新・実人数の右の（）内は新規件数

	総合相談		虐待		権利擁護		ケアマネ支援
	実人数	延べ件数	実人数	延べ件数	実人数	延べ件数	延べ件数
4月	34(15)	87			4(3)	7	6
5月	30(15)	81			1(0)	1	3
6月	32(15)	51			1(0)	2	22
7月	32(16)	57	1(0)	2			17
8月	28(11)	54					5

9月	30(13)	60					4
10月	24(13)	41					9
11月	22(10)	37	1(1)	2			10
12月	26(12)	47	1(1)	1	3(1)	3	12
1月	44(27)	115	1(1)	1	4(0)	5	5
2月	43(13)	91					3
3月	52(13)	80			1(1)	1	21

ア. 総合相談：相談経路順 1 家族、 2 本人、ケアマネジャー・医療機関等

相談内容 1 介護保険について、2 保健医療、3 福祉サービス・認知症等

イ. 虐待 : (実人数 1 人)

- ・ 本人より警察へ相談⇒高齢介護課⇒包括 (実態把握)

息子の嫁がアルコール依存症。泥酔状態になった際に本人に暴言等あり。

対応：嫁 ⇒岸和田保健所と共に、アルコール依存に対する対応を行い総合相談へ

ウ. 権利擁護：(内容) 成年後見・日常自立支援、消費者被害

④ケアマネ支援

- ・ 担当ケアマネジャーと家族間の関係について
- ・ 権利擁護及び日常生活支援事業について
- ・ 障がい年金・障がい福祉制度について
- ・ 生活困窮者に対する関わり方について

⑤地域推進のための活動

- ・ 浜手圏域の各町のふれあい喫茶への参加 月平均 4~5 か所程度
- ・ 食生活改善推進委員会、健康推進委員会、岸和田保健所等との情報交換
- ・ つげさん在宅ネット (在宅医療介護連携推進懇話会) での活動
⇒貝塚市医療・介護・福祉の情報ブックの作成
- ・ 社会福祉士部会での活動⇒貝塚市社会資源集の作成・認知症ケアパスの作成

⑥地域ケア会議の開催状況

個別ケース 1 件、地域課題 5 件

- ・ 地域での助け合いについて考えませんか
- ・ 民生委員の活動の中で感じる高齢者支援について
- ・ 地域活動をされている方が感じる課題の把握
- ・ 男性独居の方への関わりについて

⑦地域密着型運営推進会議の出席状況

2 か月に 1 回開催	まんじゅ貝塚 (グループホーム) ニチイケアセンター (グループホーム) エルケアローズガーデン貝塚 (小規模多機能) 地域密着型特別養護老人ホーム水間ヶ丘 (特別養護老人ホーム)
-------------	---

⑧介護予防教室

認知症サポーター養成講座	全8回 貝塚警察、市役所職員向け、貝塚高校、民生委員会、老人クラブ等
介護予防地域活動組織育成教室 (お達者サポーター養成講座)	津田北長生会・ロコモ長生会 (全10回×2)
通所型介護予防教室 (はつらつお達者講座)	浜手公民館 (全6回)
介護予防普及啓発教室 (単発教室)	全27回
家族介護教室	福祉センター (1回)

⑨居宅介護支援事業

月別、介護度別の利用者数の推移

	要支援1			要支援2			合計数		
	直持ち	委託	合計	直持ち	委託	合計	直持ち	委託	合計
4月	19	65	84	30	150	180	49	215	264
5月	18	64	82	27	147	174	45	211	256
6月	17	65	82	26	145	171	43	210	253
7月	17	70	87	29	146	175	46	216	262
8月	13	72	85	30	150	180	43	222	265
9月	15	72	87	34	150	184	49	222	271
10月	15	69	84	34	146	180	49	215	265
11月	17	73	90	34	140	174	51	213	264
12月	17	74	91	33	141	174	50	215	265
1月	18	79	97	30	140	170	48	219	267
2月	16	79	95	27	142	169	43	221	264
3月	12	87	99	28	143	171	40	230	270

⑩今後の方針

- ・地域ケア会議の開催や認知症高齢者への初期のかかわりなどを強化する。
- ・地域ケア会議や困難ケースの担当者会議など、開催の意味や目的をしっかりと意識する。
- ・地域支援事業への移行に伴い、協議会等への参加・住民主体の教室等の開催へのお手伝い等新しい事業への参加を行っていく。
- ・精神障害者・知的障害者・身体障害者の高齢化やご家族の状況に伴い、利用者を取り巻く背景が多様化しており、利用者・家族への支援だけでなく、地域住民やケアマネ等への支援ができるように、技術や知識の向上を図る。